

# 阿蘇の風

文責・後藤 昭

## 新年あけましておめで どうぞございます。

保護者のみなさま、地域のみなさま、関係機関のみなさま、旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願  
いいたします。

いよいよ、1月9日（火）から、3学期が始まりました。子どもたちは、冬休みにクリスマス、お正月、お年玉、地域行事などたくさんさんの貴重な体験を経験したようです。

しかしながら、日本を見ても、元日16時10分「能登半島地震」や2日の羽田空港滑走路接触事故、3日の北九州  
市小倉において大火事など、心が痛むことが多く起こっており  
ます。「能登半島地震」の流れ  
てくる映像をご覧になられて、

熊本地震を思い起こされる方もいらつしやっただと思えます。

被災された地域に対して、子どもたちと一緒に、いま私たちにできることは何か考えて行動していきたいと考えています。予測困難なこの時代を生きっていく子どもたちが主体となっていくことができるように育てていきたいと思えます。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 3学期「あいさつ」 をがんばる、阿蘇小

1月9日（火）始業式において、さきどり挨拶、ダブル挨拶をがんばろうと話しました。

「さきどり挨拶」は、相手より「先に」「自ら進んで」挨拶をしようという取り組みです。

「ダブル挨拶」は、登下校中にいつもお世話になって見守り隊の方に、「遠くから」挨拶をして、「近く」からも挨拶をするという取り組みです。

「3学期は50数日ですので、短い期間ですが、一点突破を目指してみんなで取り組んで行きましょう。」と児童に伝えました。また、「3学期は、今の学年のまとめをする時期、次の学年の準備をする時期です。しっかりと学習に生活に取り組みましよう」とも伝えました。

その日の午後、学校に遊びに来ていた5年生5人が、早速実践をしていました。6年生に向けての気持ちの切り替えをしよ  
うとしている姿に、非常にうれしくなりました。

そのほかにも、各学年の多くの児童が「意識」して行動しています。各学級の担任の先生方の指導だけでなく、児童一人一人の「素直な心」「伸びようとする心」が、成長している証拠だと思えます。

ご家庭でも、朝や食事、夜など「挨拶」ができたときは、おおいにほめていただけるとありがたいです。

